

ふくしま共創のまちづくり計画

清水地区

作成：清水地区地域の個性を生かした
まちづくり計画策定懇談会
事務局：清水支所内
電話：(024) 557-2388

地域ビジョン

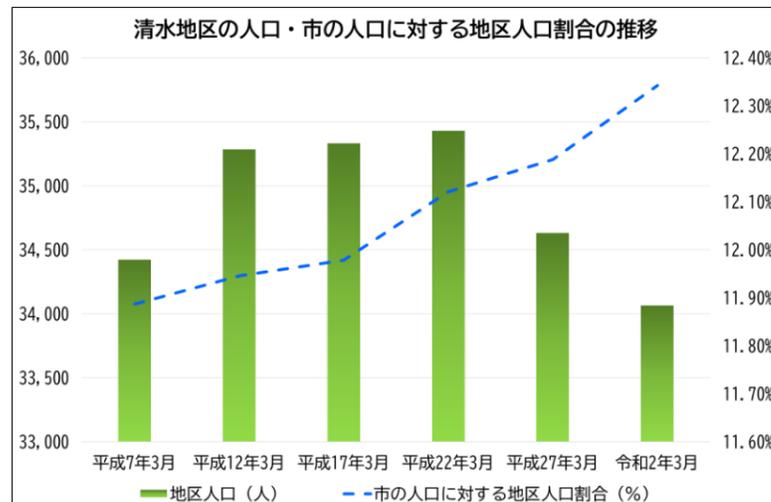
- 「地区の文化、歴史資源が活かされたまち」
- 「住民の交流が盛んなまち」
- 「水と緑を活かした生活のできるまち」
- 「安全性、快適性、防災性のあるまち」
- 「みんなが支え合うふくしのまち」



【烏ヶ崎展望デッキから清水地区を望む】

地域の個性

- 【自然環境】** 地区を東西に松川が流れており、左右両岸の河川敷公園は、住民の憩いの場となっています。また、地区内には地名「清水」が示すとおり、湧水があちらこちら見られます。
- 【伝統行事】** 古来、信仰の対象である信夫山は、羽黒神社などが祀られ、信夫三山暁まいるの祭礼が伝統行事として行われています。
- 【公共施設】** 信夫山のふもとには県立美術館、県立図書館などの文教施設が、また、地区の南部には市庭球場・森合市民プールや森合運動公園があります。
- 【公共交通】** 国道13号、国道13号福島西道路、主要地方道福島・飯坂線、都市計画道路北沢又丸子線などの幹線道路により中心市街地と結ばれています。また、飯坂温泉と市街地を結ぶ福島交通飯坂線の4つの駅が地区内にあり、通勤・通学等に利用されています。
- 【産 業】** 国道13号、国道13号福島西道路、主要地方道福島・飯坂線には多くの大型商業施設等が立地しています。地区西部の市街化調整区域は、果樹、水田、畑が混在する耕地が広がっています。



清水地区の基礎データ (R2.9末現在)

項目	清水地区	市全体
面積	9.17km ²	767.72km ²
人口 (人)	34,009 (市全体の12.3%)	275,966
15歳未満	4,451 13.1%	31,659 11.5%
15~64歳	20,028 58.9%	161,424 58.5%
65歳以上	9,530 28.0%	82,883 30.0%
世帯数	15,445世帯	123,906世帯

地域の取り組みの実績

- 見守り隊の活動：小学校区ごとに見守り隊を組織し、地域ぐるみで児童の安全確保に努めています。
- 花いっぱい運動：地域コミュニティの推進を図り、地区内の環境美化活動に取り組んでいます。
- いきいきサロンの活動：高齢者同士や地域住民のふれあいの場を作っています。
- 地区内の清掃活動：春と秋の全市一斉清掃や松川のクリーンアップ作戦、信夫山七曲の草刈りや側溝整備を行っています。
- ボランティア活動：女性団体連絡協議会や各地区のふくし会など、社会福祉活動が盛んで住みよい地域づくりに貢献しています。平成27年2月には、多年にわたる社会福祉ボランティア活動の功績が認められ、各地区ふくし会が「福島県知事感謝状」を受賞しました。
- わらじ祭りや信夫三山暁まいる、御山太々神楽：祭りの活性化を図り、地域の伝統文化を守り伝えています。
- 自主防災組織活動：各地区で自主防災組織を結成し、地域をあげて防災訓練を実施しています。



【花いっぱい運動】

地域の強みとなる資源

- 新しい清水支所の建設**
地域住民に親しまれるコミュニティセンター機能や災害時の防災拠点、緊急避難所としての機能を備える支所を建設する予定です。
- 新しい消防署清水分署の建設**
防災拠点施設として、災害に強い消防施設を建設することによって、消防防火体制の充実が期待できます。
- 信夫山**
福島市のシンボリック存在で市の中心に位置し、豊かな自然だけでなく、信仰・文化・歴史などの資源が多くあります。
- 松川**
両岸の整備された広場は、市民の憩いの場並びにスポーツ交流の場となっています。

地域課題

- 地元のことをよく知り、元気のあるまちづくり
- 地域や団体の特徴を活かした交流
- 信夫山と松川という優れた資源の活用を十分に考えたまちづくり
- 災害に強いまちづくり
- 少子化・高齢化に対応した地域の支援体制づくり

重点的な取り組み

I 地域コミュニティ

- 【方針1】 町内会活動を活発にし、地域の交流を深めます。
 - (継続) 各地区の体協、団体によるスポーツや文化活動を積極的に行います。
 - (継続) 地域の将来を担うリーダーの育成を図ります。

II 安全・安心

- 【方針1】 災害等に備えるため、地域の共助体制の充実を図ります。
 - (継続) 自主防災組織の充実を図り、自主防災訓練を実施します。
 - (継続) 災害時要援護者を地域で支えるネットワークづくりをします。
 - (新規) 福島市空家等対策計画に基づき、行政と連携しながら、町内における空き家調査を実施し、地域で見守り活動の推進をします。
 - (新規) 湧水の場所を調査し、災害時に住民が利用できるように地図を作成します。
 - (新規) 夜間の暗い場所を調査し、街灯設置だけではなく、「外灯」を増やし路地の安全を図ります。

III 歴史

- 【方針1】 祭りなど、伝統文化を守り伝えます。
 - (継続) 信夫三山暁まいりの集客化と信夫山再生プロジェクトによる各種整備とその他自主団体による観察会など歴史、環境、教育の場として各小学校でカリキュラムの利活用を図ります。
 - (新規) 5地区それぞれに存在する神社、寺院に伝わる祭りや行事を子どもから大人まで広く市民に周知し、見学や参加できるようにします。

IV 子どもの健全育成

- 【方針1】 子どもが心豊かに成長するための環境づくりを進めます。
 - (拡充) 小学校区ごとの見守り隊などの体制強化を図り、地域ぐるみで児童の安全確保に努めます。
 - (継続) 各地区青少年健全育成推進会の活動の充実を図り、子どもたちの健全育成に努めるとともに、子育て家庭を支援します。

V 福祉

- 【方針1】 高齢者や障がいのある方が安心していきいき暮らせるまちづくりをします。
 - (継続) 社会福祉協議会清水協議会や各地区ふくし会、民生児童委員等関係組織と連携を図り、安心して暮らせるまちづくりをします。
 - (拡充) ふれあいサロンの運営を通じて高齢者の社会参加と生きがいづくりを進めます。また、「清水地区サロンマップ」を利用し、利用者の増加とサロン活動の活性化を図ります。
 - (新規) 高齢者のひとり暮らしの方の孤立を防ぎ、町内会や地域が支援する意識を高める活動を充実させます。

VI 豊かな自然

- 【方針1】 自然の環境を活かし守る活動をもっと広げます。
 - (継続) 松川河川敷の多様な施設を健康づくり、地域づくりに有効活用し地域の交流と活性化を進めます。
 - (継続) 信夫山の自然環境を保ちながら、自然学習のできる環境をつくります。
 - (継続) 「ポイ捨てのない美しいまちづくり」を進めます。
 - (新規) 松川河川敷の整備美化に努め、住民が安全に散策、運動等のできる憩える場所にします。
 - (新規) 信夫山の散策の案内図を活用し、散策を通して自然を大切にする心を育てるとともに、歴史・健康・癒し・冒険などの体験を通して信夫山の魅力を広めます。



【信夫三山暁まいり「大わらじ奉納」】



【松川河川敷でのウォーキング講習会】